

地方CR活動

山梨県協会

献血の大切さを広める取り組み「つなぐ献血のキズナ」を応援しています

山梨県協会（会長：田上武 明治安田生命甲府支社長）は、山梨県赤十字血液センターと連携し、「ふれあい献血」活動を年2回実施しています（1985年から連続41年）。

今夏の記録的な猛暑の影響もあり献血協力者が減少、この秋は輸血用血液が危機的に不足したそうです。特に、400ml 献血の必要量を確保したいと依頼がありました。

今年も10月から11月までの2カ月間で実施。輸血を受けた方またはご家族からのメッセージカード『ありがとうを届けたい』を通じて献血の大切さを再実感、会員会社16社延べ126名が協力しました（甲府献血ルーム113名、移動採血バス13名）。

山梨県協会と会員会社は、山梨県赤十字血液センター『つなぐ献血のキズナ』を応援、「ふれあい献血」活動を毎年継続していきます。

